

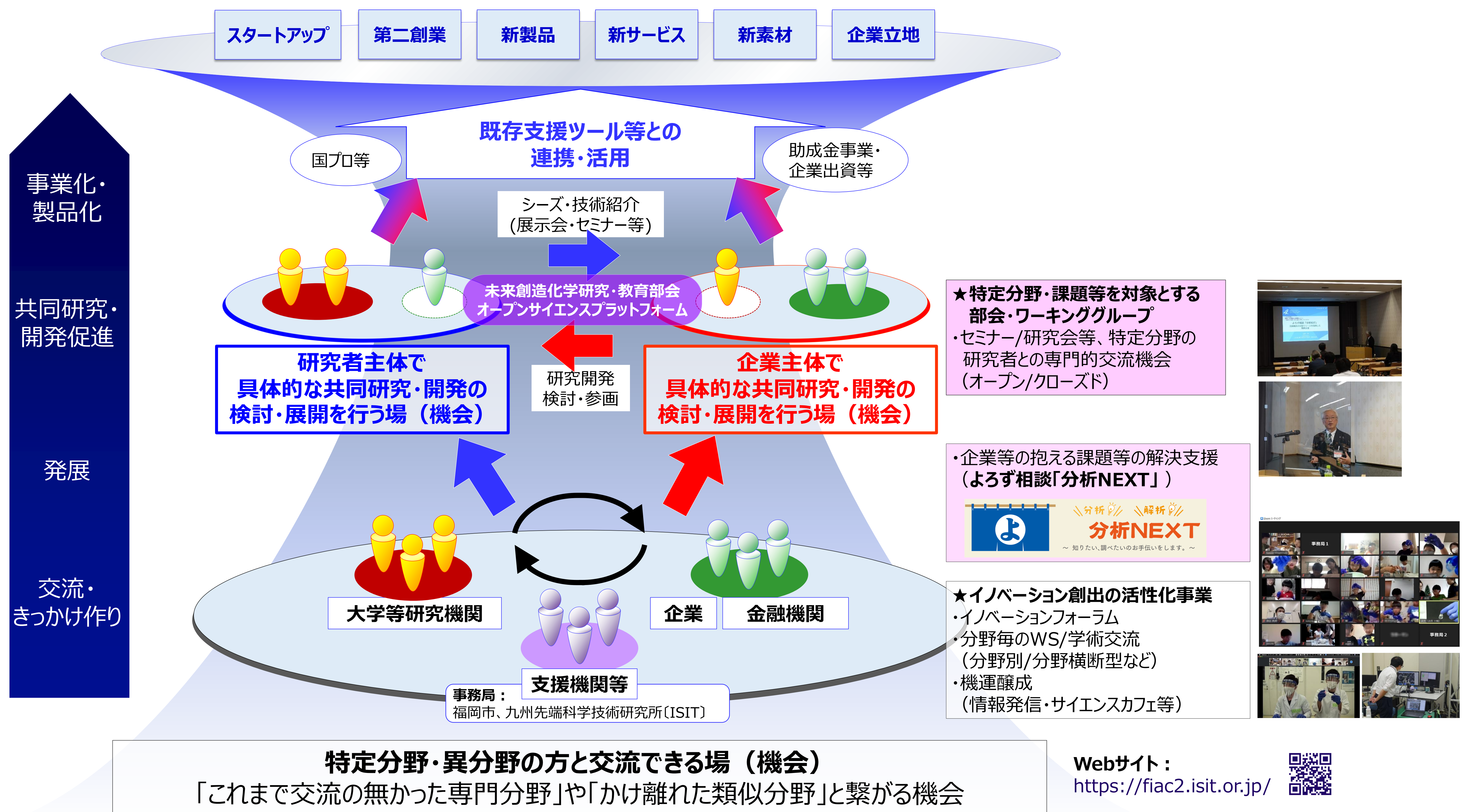


地域発イノベーション創出環境の構築を目指す 「ふくおか産学共創コンソーシアム」の紹介

地域におけるイノベーション創出と地域経済発展を目的として

- ①地域における研究・開発型のスタートアップや中小・中堅企業、大学等研究機関、金融機関、産業支援機関など様々な主体が、組織や業種の垣根を越えて交流・連携できる場(環境)をつくり、
- ②その場から、多くの交流・連携活動が自律的に生まれるための支援活動を行うことで、

中小企業の研究開発力の向上やスタートアップの創出・育成など、地方発イノベーション創出を推進します。



オープンサイエンスプラットフォーム



本コンソーシアムの主旨に則り、産学官連携のもと、企業を主体とする「未来創造化学研究・教育部会」を設立し活動しております。さらに本部会において、産学官連携のもと、企業を主体とする「未来創造化学研究・教育部会」を設立し、真のイノベーションを創出するための基盤を提供する新たな取り組みとして「オープンサイエンスプラットフォーム (OSP)」を令和3年4月より本格始動しております。

OSPでは、特にヘルステック領域における課題解決を目的として、参画企業の研究者等と九州大学の研究者・学生が協働し、九州大学の豊富なリソースとメディカルビッグデータに加え、他分野のビッグデータ・オープンデータをも共有・活用し、アイデアの創出から実証研究にまで挑む世界初の試みです。

既に複数企業にご参加いただいております。今後、さらに活動を拡大しイノベーションの輪を広げて参ります。